

平成 18 年 8 月 4 日

維持保全研究支援奨励金助成論文 募集要領（平成 18 年度版）

（社）建築・設備維持保全推進協会（BELCA）

1. 奨励金助成の目的

今後、急速に重要性を増すと考えられる維持保全に関する分野の若手研究者に対して、BELCA が研究助成を行うことにより、進行中の研究推進の一助として、更に維持保全研究の継続的推進に寄与することを目的とする。

2. 助成対象論文のテーマ

維持保全関連とし、建物のロングライフ化に結びつくテーマとする。例えば LC 設計・LCC、維持保全計画（長期修繕計画）、診断、改修、建築ストック対策、耐久性、維持保全教育等とする。

3. 募集期間

平成 18 年 9 月 19 日（火）～10 月 20 日（金）

4. 助成対象者と奨励金の額

平成 19 年 3 月末日に、修士論文または博士論文を提出する予定の者（グループも可）若干名を対象とする。但し、修士課程または博士課程の学生に限る。

奨励金の額は、一論文につき博士前期課程（修士）30 万円、博士後期課程（博士）50 万円程度（予算の範囲内）とする。

5. 最終提出物と助成の前提（著作権等）

論文の要約（1 万字程度）の電子データ・印刷物、並びに論文最終版の印刷物の 3 点を提出する。

また、助成対象論文の著作権は研究者とする。BELCA は、BELCA の刊行物等への助成対象論文の要約の無償による掲載の権利を得るものとする。

6. 応募方法

維持保全関係論文概要（修士論文、博士論文）調査票（様式 1）および指導教員の推薦状（様式 2）に必要事項を記入の上、BELCA 宛に 10 月 20 日（金）までに郵送（当日消印有効）する。（様式は当協会ホームページに掲載）

7. 助成論文の選定

- ・調査票に基づき選定委員会で審議し、3～5件程度を選定する。
- ・選定に当たっては、必要に応じ、補足調査も行う。
- ・研究奨励金は個人宛に支払うこととする。
- ・支払い時期は、12月中旬頃とする。

8. 助成論文の選定委員会

選定委員会委員（敬称略）

委員長	友澤史紀	日本大学	生産工学部建築工学科教授
	松本光平	明海大学	名誉教授
	紀谷文樹	神奈川大学	工学部建築学科教授
	峰政克義	住宅総合研究財団	専務理事（東洋大学客員教授）
	伊藤 潔	BELCA	企画調整委員会委員長（三菱地所（株））
	今泉 晋	BELCA	専務理事

9. 辞退

選定後、論文が提出できない場合、あるいは、大学の審査・承認を得られないなどの事情があった場合には、速やかにBELCAに辞退する旨を報告すること。

10. 論文の公表

BELCA NEWSのほか、BELCA刊行物等へ論文の要約（前記）を掲載する。

11. 助成の手続き

別紙 「維持保全研究支援奨励金 助成手続き要領」を参照のこと。

12. 提出物の取り扱いについて

応募者の個人情報（氏名、住所、連絡先等）は、応募論文に関するBELCAからの問い合わせ、選定結果の連絡に利用する目的以外には一切利用しないものとする。詳細はBELCAホームページのプライバシーポリシーを参照のこと。